

埼玉県下水道公社職員の一日の仕事を紹介します。
(化学職編)



◆朝の打合せ

職員全体での打合せから一日が始まります。

水処理・汚泥処理・中継ポンプ場の前日運転データの報告及び当日作業内容について連絡し情報共有することで、事故等が起きないように職員全員の意識を統一します。同時に管理職員においては職員の健康状態もチェックしています。

ラジオ体操を行っている支社もありま〜す！

◆委託業者との打合せ

各設備担当ごとに、委託会社からの報告を受け、そのデータから今日の作業内容を調整・指示。

また、工事や修繕による運転計画の変更や、見学者の受入れの有無など、安全第一の作業となるよう綿密な調整を行います。

◆採水

公共下水道（各市町で管理）と流域下水道（県で管理）の接続点、又は水循環センター内の観測点で下水を採取します。

この時、マンホールや枠等に損傷がないかなどもチェック！

◆昼休み

弁当持参はもちろんのこと、弁当屋さんに頼んだり、コンビニ弁当だったり、毎日カップラーメンとう職員も……

もちろん休憩時間内であれば外食もOKです。
(ファミレス、定食屋、ラーメン、牛丼などなど)



◆水質試験

採水した下水などを分析します。

ここで、流入下水、処理中の下水、汚泥、放流水などを分析し、常に処理状況を見守ることで最適な運転計画を職場内で調整します。

重金属（鉛やカドミウムなど）の精密分析等を専門に行う部門（水質調査センター）では、全流域の流入下水と放流水の有害物質等の測定・監視をしています。



◆データ集計及び解析

運転管理データ及び水質測定データを集計し、水処理及び汚泥処理の状況を確認・把握します。これにより、処理状況の変化を事前に予測し、処理水質の悪化を未然に防止したり、安定した処理が行えるよう最適な運転方法を検討したりします。



◆調査研究

より良い水質の管理とするため、他の担当者とは意見調整をし、文献調査や研究調査を行います。

調査研究の成果は、年2回以上行われる発表会において全支社で情報共有し、適正な維持管理に活用しています。

・・・etc



とは長年の経験で培った、公社職員一人一人が誇る匠の技です。

“先輩からのメッセージ”



◆プロフィール

所属：荒川右岸支社
担当：水質管理担当(化学職)
氏名：石川 智弘
入社：平成6年
卒業：工学部応用化学科

◆メッセージ

私が、埼玉県下水道公社を選んだ理由は、化学の知識を活用し、仕事として自然環境の保護に貢献することができると思ったためでした。

現在の私の業務は、処理場内にある処理池の水質管理を主として、下水処理場から河川へ放流する水の水質分析や、処理場周辺環境等に関わる委託調査の設計・監督業務等を担当しています。小学生が総合学習として処理場見学に訪れた際は、下水道の仕組みや大切さについて説明することもあります。

学生時代に得た知識を活用するのはもちろんのこと、入社してから学ぶことも多岐にわたるため、資格取得や外部セミナー等へ参加することにより、自己研鑽を積み重ねていく必要があります。皆さんが、下水道について目にする機会はありませんが、私は、県民の生活環境を守り、地球環境の保全に関わる仕事であることに、誇りを持っています。



◆プロフィール

所属：中川支社
担当：水質管理担当（化学職）
氏名：高橋 務
入社：平成8年
卒業：工学部環境工学科

◆メッセージ

埼玉県下水道公社は、埼玉県が設置する流域下水道の施設等を維持管理する会社です。私が所属する中川支社 水質管理担当の主たる業務は、下水処理場内の処理工程水や流域下水道の接続点等採水と水質試験、良好な処理水質の確保及び再委託の設計と施工管理などです。

水質試験は、法律や条例を基に行う法定試験と維持管理に必要な管理試験に区分されており、その結果が各処理工程の適正管理に反映されます。そして、良好な処理水質の確保へと繋がり、窒素やリンが除去された上質な処理水が河川へ放流されます。

日々、汚れた下水をきれいな水に再生し、県民の生活環境向上に貢献できていることで大いに達成感を感じられる仕事です。